

2019年度 エクシヴ益田乙吉第2事業所 自己評価結果報告

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、保護者向けアンケートを経て、2019年11月8日から20日に療育スタッフを対象としたアンケートを実施しました。以下、「工夫している点、課題や改善すべき点など」の欄に記載があった様々な意見から、今後の取り組むべき課題やその方向性について記します。なお、設問と集計結果は、表にして最終ページに記載しております。

設問1について

スペースが狭い、もう少し広くなるとよいという意見があるが、国の指定基準を満たしたスペースを確保している。中高生を対象とした療育をしております体も大きく狭く感じられるかもしれない。整理整頓をしておく等限られた空間を工夫して利用することによりスペースを確保していく。療育内容、活動内容により日々の工夫と検証を繰り返すことによりスペースの確保と安全への配慮も心掛けていきたい。

設問8について

昨年度評価時、「事業所内での研修を計画的に毎月行う」という改善目標を立てていたが、計画的に行うことができず達成できていない。勉強したい、学びたいと思う職員が多い中、外部研修会の機会が少ない。事業所内でも外部研修会の情報交換を行い、情報を集め職員に周知しているが日程調整等の課題も多い。しかしながら、職員の資質向上のため、できることから行っていく必要がある。

設問13について

いろんな課題に取り組めるように事業所の特徴を生かして支援していると思う。長期休日の場合、現在体力の維持向上の為のプログラムを継続して取り入れている。必要に応じてゆっくり話を聞く時間を設け、内面的な支援も行っている。

設問14について

個々の状況に応じた計画を作成し取り組んでいるが、今後も、成功体験を重視し、自発的に活動に参加し、学べる環境が提供できるよう努めていきたい。

設問16について

利用者の様子や支援方法の確認など、その日に勤務していた職員間で振り返りを行い共有している。その内容を次の日の朝ミーティングで共有し、「職員連絡ノート」で全職員に周知している。職員の報告、連絡の意識統一ができていたので、情報の伝達はスムーズに行われている。今後も継続していく。

設問26について

毎年、放課後児童クラブとの交流についての設問があるが、放課後児童クラブとの交流はしていない。放課後児童クラブの人数や環境からしても、難しいのではないかと。地域との交流は行っている。

設問40について

虐待防止研修会には、毎年対象職員を選出し参加している。前年度は対象者がおらず、参加していないが、本年度は参加し内部報告会を行いたい。虐待防止研修会に関しては、以前も参加した職員が報告会を開き職員全員に周知、報告書の提出も全員行った。今後も継続して行っていく。

設問43について

事例については、書類を閲覧すること、また会議で議題にあげることで周知している。今後ヒヤリハットの再発防止・予防に向けて研修もしていきたい。

以上

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和元年12月

事業所名 エクシブ益田乙吉第2事業所

		チェック項目	はい	いいえ	未回答
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	0
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	0
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	2
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	1
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	1
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	1
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2	1
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	1
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	2
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	1
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	1
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	1
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	1
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	1
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	1
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	1
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	0	3
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	1
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	1
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	3

		チェック項目	はい	いいえ	未回答
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1	2
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	0	5
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	1
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	4	2
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	1
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	1
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	3	3
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	0	3
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	3
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	1
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	1
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	1
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	1
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	1
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5	1
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	0	3
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	1
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	1
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	0	3
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	3
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	2